

2014 十六銀行の現況

JUROKU BANK DISCLOSURE REPORT 2014

イントロダクション

■ 目次	1
■ ごあいさつ	2
■ 当行の基本理念	3
■ 第13次中期経営計画	5

平成25年度業績ハイライト

■ 事業の概況	7
---------	---

経営マネジメント

■ コーポレート・ガバナンス	13
■ 内部統制システム構築に関する基本方針	14
■ コンプライアンス態勢	15
■ 顧客保護等管理態勢	16
■ リスク管理態勢	16

十六銀行のCSR

■ 地域の皆さまとじゅうろうく	19
■ [法人の皆さまへ]	
■ 地域経済活性化への取組み	23
■ [個人の皆さまへ]	
■ 地域経済活性化への取組み	27
■ ATMネットワーク	29
■ ローンサービスセンター	31
■ 環境保全活動	33
■ 社会貢献活動	35

十六銀行の概要

■ 役員	39
■ 組織	40
■ 店舗ネットワーク	41
■ 店舗外キャッシュコーナー一覧	45
■ 各種お問い合わせ先／手数料	47
■ 主要な業務	49

行 章



「十」が6個で「十六」銀行を意味するとともに、「十」の字を人間模様と考え、全職員が手をつなぎ、和(輪)を誓い心をつ一つにして前進することを示しています。

■ 当行の概要

創業	明治10年10月	資本金	368億円
本店所在地	岐阜市	従業員数	3,383名
営業拠点数		預金等残高	5兆1,554億円
■ 本支店	147か所	※譲渡性預金含む	
■ 出張所	10か所	貸出金残高	3兆7,515億円
■ ローンサービスセンター	19か所		
■ 海外駐在員事務所	2か所(香港・上海)		
■ 店舗外ATM	230か所		

(平成26年3月31日現在)



私たちは、お客さまから より多くの「Smile」をいただけるよう、 全力を尽くしてまいります。

平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成26年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を発刊いたしました。

金融機関を取り巻く環境をみますと、デフレからの脱却および力強い成長の実現のため、積極的な資金供給を行うことが金融機関に求められています。また、中長期的には少子高齢化、人口減少社会の本格的到来により、地域金融機関の営業基盤である地域経済が構造的に縮小するという事態も予想されます。今後も当行が地域への貢献を継続的に果たしていくためには、収益性を高め、経営体力を一層強化していく必要があります。また、競争が熾烈さを増すなか、差別化に寄与する専門的なサービスの提供力およびコスト競争力における優位性を確保するためには、お客さまの期待を超える商品・サービスを提供し、お客さまの夢の実現や成長・発展のお役に立つことに努めていかなければなりません。

地域の皆さまと歩みをともにしている当行にとって、お客さまの発展および信頼なくして当行の成長はありえません。お客さまの満足の証である「Smile」をより多くのお客さまからいただけるよう、全役職員が意識と行動の変革をはかり、「持続的成長力を備え、真に頼りにしていただける地域金融機関」を目指してまいり所存であります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月

取締役頭取

村瀬幸雄



当行の基本理念

基本方針

十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針

頼りにしていただける銀行

当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

充実した銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

行動する銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組むとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

行動指針

職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。

和の精神

信頼と協力は
明るい職場をつくる。
相たずさえて
心からの和を誓おう。

信用の向上

銀行の生命は信用である。
誠意をもって人に接し、
熱意をもって仕事に当り、
信用の向上に努めよう。

たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

～All For Your Smile ところにひびくサービスを～

本年4月より、平成26年度から平成28年度までの3か年を計画期間とする「第13次中期経営計画～All For Your Smile ところにひびくサービスを～」をスタートさせました。本計画を推進するにあたり、4月1日付で本部の組織改正を実施し、「徹底した顧客志向への意識改革・行動改革」、「地域金融機関としての原点回帰」、「愛知県戦略を軸とした成長戦略」を基本方針に据え、7つの基本戦略である「お客さま起点によるサービスの品質向上」、「地域別戦略」、「地域密着型金融のさらなる推進」、「資金運用力の強化」、「経営資源配分の最適化」、「人材活用および人材育成」、「財務体質の強化および経営管理態勢の高度化」に取り組んでまいります。



取締役頭取

村瀬幸雄

第13次中期経営計画

Ⅰ 基本戦略

本経営計画における次の基本戦略を断行し、当行グループを取り巻く課題に適切に対処してまいります。

お客さま起点によるサービスの品質向上

お客さまとの接点強化をはかるとともに、お客さまの資産状況やライフステージによる様々なニーズに即した商品・サービスを提供しリテール部門を強化してまいります。また、お客さま目線での業務改革を通じてサービスレベルの向上や業務効率化に取り組んでまいります。

地域別戦略

岐阜県においては、高品質のソリューション提供を通じて一層のリレーション強化をはかり、圧倒的な県内シェアを確保してまいります。愛知県においては、店舗網を充実させるほか、営業推進態勢の強化をはかり、地元化をさらに推進してまいります。

地域密着型金融のさらなる推進

地域経済の健全な発展のため、迅速かつ円滑な資金供給のほか、お客さまのライフサイクルに応じたコンサルティング機能の発揮等、地域密着型金融のさらなる推進に取り組んでまいります。

資金運用力の強化

機動的な有価証券運用により収益拡大をはかるほか、新たな収益機会を積極的に取込み、資金運用力を強化してまいります。

経営資源配分の最適化

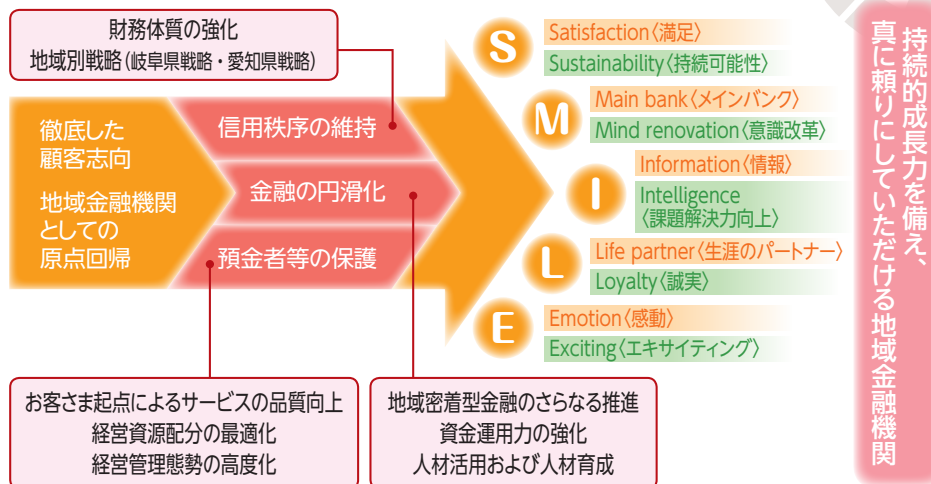
効果的なコスト管理の実施や中長期的なICT戦略の強化など、限られた経営資源を有効に活用してまいります。

人材活用および人材育成

職員のモチベーションの向上のため、能力・適性に応じた処遇等に努めるほか、人材育成に注力してまいります。

財務体質の強化および経営管理態勢の高度化

資本および資産の質の向上をはかり財務体質を強化していくほか、リスク管理態勢の高度化やコンプライアンス・顧客保護の徹底をはかってまいります。

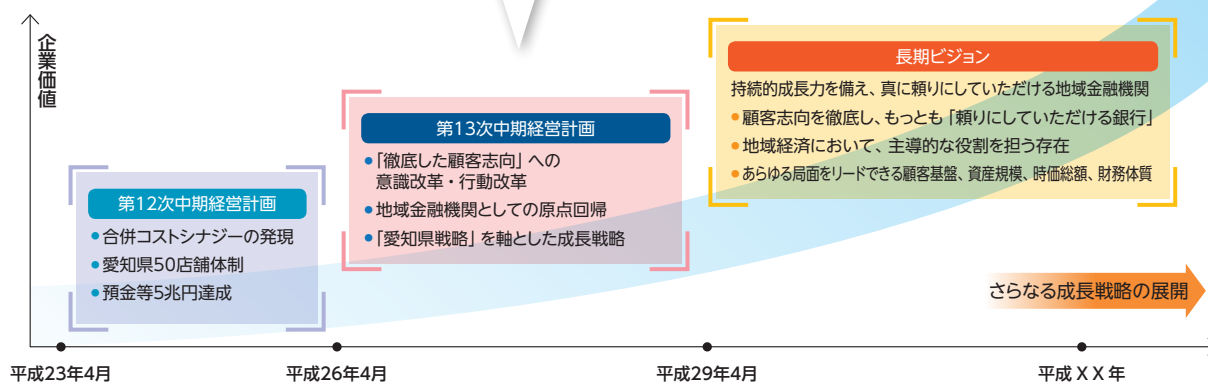


計数目標	成長性(顧客基盤)		収益性	健全性	
	預金等残高	リテール貸出先件数 ^{※1}	当期純利益	コア資本比率(完全実施ベース) ^{※2}	与信費用率 ^{※3}
	最終年度末 5兆6,000億円	最終年度末 100,000件以上	最終年度 100億円	最終年度末 8.8%以上	最終年度 0.2%未満

※1 リテール貸出先件数= 中小企業貸出先数(含、個人事業主)
+住宅ローン・アパートローン件数(当行基準)

※2 コア資本比率 = $\frac{\text{コア資本(経過措置適用前)}}{\text{リスク・アセット等(経過措置適用前)}}$ (完全実施ベース)

※3 与信費用率 = $\frac{\text{与信関係費用}}{\text{貸出金平残}}$



そのもとすえ ～其の本栄えて末栄える～

当行には、「行員心得十則」という基本方針が明治の時代からあります。

「行員心得十則」の一番目は、「其の本栄えて末栄える」という教えから始まります。

これは、本(もと)であるお客さまが栄えることで、やがては末(すえ)に位置する銀行が栄えることにつながることを説いています。

お客さま本意の考え方は今に始まったものではなく、現在に至るまで脈々と受け継がれております。

当行の役職員はこれからも「徹底したお客さま志向」のもと、行動してまいります。